

2025 陸上競技ダイジェスト

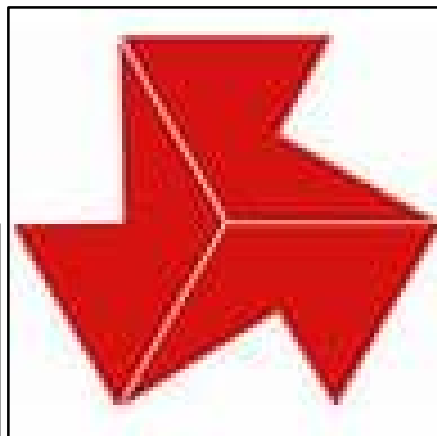
「第78回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会西播地区予選会」

5月10日(土)～5月11日(日)

ウイंक陸上競技場

兵庫県高体連陸上競技部 広報委員会

全国高体連のマーク



KRAFT…**力**

KUNST…**技**

KLARHEIT…**明朗な精神**

男子 参加校 28校 参加人数 311名

総合優勝 姫路商業

優秀選手 檜崎 蓮(姫路飾西2)

シーズン当初から調子が良くなく、不安がありました。しかし、西播大会一種目目のハンマー投で自分が思い描いていたものに近い記録を出すことができ、今までやってきたことが間違いではなかったと自信を取り戻すことができました。それが砲丸投の結果にもつながったと思います。県、近畿とさらに調子を上げていき、全国大会に出場したいと思います。

マークの由来…ドイツ語の3つのKの頭文字をとったもの。「**若い力とわざと明朗な精神**」を象徴し、真紅の色彩は「**高い理想**」と「**希望に燃える若人の情熱**」を象徴している。

女子 参加校 26校 参加人数 176名

総合優勝 姫路女学院

優秀選手 幸長 愛美(姫路女学院2)

このたび、優秀選手賞という賞をいただき、とても嬉しく思います。日々の練習を支えてくれた仲間や指導して下さった先生方のおかげで、ここまで頑張ることができました。結果を残せたことは、これからの自信に繋がると 생각합니다。今後も努力を惜しまず、チャレンジャーの気持ちで、さらに上を目指して頑張っていきたいです。



《1日目》-トラック-

スローな展開となった女子1500m。三木(姫路女学院1)を先頭に400mの通過は1分21秒。龍野の平尾(3)、網井(3)、**秋田 彩乃(2)**、龍野北の芳川(3)が互いにけん制し合い、大きな集団のまま800m-2分46秒、1200m-4分4秒で通過。残り200mで平尾が仕掛けるも、秋田がゴール直前で平尾をかわし4分57秒19で勝利。2位の平尾は4分57秒45であった。男子1500mでは、富永(東洋大姫路2)が積極的にレースを展開。**山本 達稀(龍野3)**、中島(姫路2)とともに400m-1分5秒、800m-2分13秒、1200m-3分20秒で通過し、勝負は残り300m。ここでタイミングを見計らっていた山本がもう一段階ギアを切り替え、後続を引き離し4分4秒86で勝利。1500mは龍野勢がアベック優勝を果たした。果敢に挑んだ富永は4分5秒28、昨年度県ユース大会2位の中島は4分8秒87で3位。

女子100mHでは、予選をトップ通過した**家氏 美和(姫路飾西2)**が決勝でも快走。持ち前のスプリント力でぐんぐん差を広げた家氏が向い風2.8mの中、14秒72の好タイムでフィニッシュ。男子110mHは山

本創士郎(飾磨工 2)と福永(姫路 2)の 2 年生対決。向い風 3.9m の中、力強いハードリングで先頭を死守した山本が 15 秒 37 で快勝。福永は 16 秒 04 で 2 位、須方(姫路飾西 3)は 16 秒 19 で 3 位。

女子 400m では、近畿ユース大会の覇者・幸長 愛美(姫路女学院 2)がスタートから圧倒的な強さを見せる。岩崎(姫路女学院 3)と長谷川(同 2)が追うも、ラスト 100m でさらにその差を広げた幸長が 56 秒 91 の好タイムで圧勝。2 位の岩崎は 58 秒 06、3 位の長谷川は 59 秒 80 と姫路女学院勢が上位を独占した。男子は 4 月に 48 秒 04 をマークした黒田 悠希(姫路商 2)が序盤から軽快な走りで他を圧倒。大会記録[47 秒 88]の更新とはならなかったが、48 秒 57 の好タイムで勝利。2 位の村瀬(姫路西 3)は 49 秒 26。

400m 決勝から 15 分後に行われた女子 100m でも幸長 愛美(姫路女学院 2)が躍動。向い風 4.4m の中、昨年度の覇者・権藤(同 3)と今大会 100mH の覇者・家氏(姫路飾西 2)との三つ巴の戦いを 12 秒 41 で制した。2 位の権藤は 12 秒 58。姫路女学院勢の県大会でのハイレベルな戦いに期待したい。男子 100m は矢田 晋啓(龍野 3)が大きなストライドで中崎(姫路商 2)と上原(同 3)を引き離し 11 秒 11 で勝利。

タイムレース決勝で行われた 3000m 障害では、2 組に記録上位の選手が出場。玉田(県立大附 3)を先頭に 1000m-3 分 12 秒、2000m-6 分 37 秒とややスローなレース展開。しびれを切らしペースアップを図ったのは福井 翔(姫路西 3)、吉川(龍野 2)、中田(姫路工 2)、妹尾(姫路商 3)の 4 名。残り 1 周でさらにギアを切り替えた福井が 9 分 57 秒 32 で勝利を飾った。

女子 4×100m リレーでは姫路女学院[津田-権藤-幸長-岩崎]が大会記録[47 秒 66]更新を目指す。個人の走力に加え、安定感のあるバトンパスを見せ 47 秒 72 の好タイムでフィニッシュ。大会記録の更新はならなかったが、県大会での活躍が大いに期待できる好タイムであった。2 位の姫路飾西は 49 秒 80、3 位の姫路西は 50 秒 53 であった。男子 4×100m リレーでは、6 レーンの姫路南海稜[矢野-大野-太田-中野]、5 レーンの東洋大姫路が先行。姫路工業が技術力の高いバトンパスで差を縮めるも、姫路南海稜の 4 走・中野が逃げ切り 43 秒 44 で勝利。東洋大姫路は 44 秒 30、3 位の姫路工は 44 秒 45 であった。

《1 日目》-フィールド-

女子棒高跳は昨年同様、赤穂の松本 七虹(3)と亀井(3)の同校対決。勝負強さを見せた松本がノーミスで 2m40 までをクリアし勝利。2 位の亀井は 2m00。女子走幅跳では、3 回目までに長安 愛海(姫路飾西 2)が 5m33(+2.1)をマークし首位に。長安はその後も試技ごとに風の強さが変わる中で、5m 越えの安定感のある跳躍を連発。5 回目には 5m39(+3.8)まで記録を伸ばし勝負あり。同じく 5 回目に 5m13(+3.5)をマークした花畑(姫路飾西 3)が 2 位、5m10(+3.5)を跳んだ濱寄(姫路西 3)が 3 位に滑り込んだ。

男子走幅跳では 5 回目に 6m74(+3.9)を跳んだ栗岡 駿(姫路商 2)が圧勝。3 回目に 6m48(+3.1)をマークした藤原(相生 2)が、わずか 12cm 差の中に 7 名の選手がひしめく接戦を制して大健闘の 2 位。女子ハンマー投では、中山 愛香(姫路商 3)が 2 投目に 39m88 を投げ好発進。小東(姫路飾西 3)が 5 投目に 37m38 まで記録を伸ばすも、中山は最終 6 投目に 39m93 まで記録を伸ばし勝利。男子ハンマー投は上位 6 名が 40m オーバーのハイレベルな戦いが繰り広げられた。2 投目には浜松(飾磨工 3)が 47m27、藤田(姫路飾西 3)が 45m62 をマーク。その 2 人を追うように 3 投目には檜崎 蓮(姫路飾西 2)が 46m74、中野(姫路工 3)が 47m37 まで記録を伸ばす。5 投目に 49m25 まで記録を伸ばした浜松を檜崎が 49m69 を投げ逆転。

女子円盤投では、1 投目に 32m33 を投げた石田 羽音(日ノ本 1)が 6 投目に 32m63m まで記録を伸ばし、昨年度の覇者・石田(姫路飾西 2)を破る大金星。1 年生チャンピオンが誕生した。男子円盤投では、5 投目に 38m31 を投げた中野 椋哉(姫路工 3)が貫録勝ち。昨年に続き 2 連覇を達成した。ハンマー投の覇者・檜崎(姫路飾西 2)が 35m03 で 2 位、荒木(香寺 3)が 5 投目に 34m23 を投げ 3 位に滑り込んだ。

《2日目》-トラック-

女子 5000m 競歩は、唯一の出場者・伊賀 菜花(姫路女学院 2)がスタートから積極的なレースを展開し、1000m を 4 分 57 秒で通過。その後はややペースを落とし 28 分 6 秒 28 でフィニッシュ。県大会での活躍に大いに期待したい。5 名の出場者で行われた男子 5000m 競歩は、小西 悠仁(姫路エ 2)が一人旅。PB 更新とはならなかったが 26 分 55 秒 08 で堂々の 1 着。2 位の金治(相生産 2)は 28 分 41 秒 47、3 位の三木(太子 3)は 28 分 55 秒 83。女子 400mH では、近畿ユース大会 2 位の家氏 美和(姫路飾西 2)が力強いハードリングで徐々に差を広げ、1 分 2 秒 13 の好タイムで圧倒的な強さを見せた。2 位の濱寄(姫路西 3)は 1 分 6 秒 18、3 位の河本(姫路女学院 3)は 1 分 8 秒 22。男子 400mH は昨年度の覇者・森田 朔空(姫路商 3)が前半から伸びのある走りで果敢に攻める。河野(姫路商 2)と溝上(姫路東 2)が懸命に食らいつくも、技術力の高さを見せた森田が 54 秒 13 で圧勝。県ユース大会覇者の実力を見せつけた。

大会 2 日目も幸長 愛美(姫路女学院 2)の勢いが止まらない。女子 200m でもスタート直後からリードを広げ、ホームストレートではすでに独走。向い風 3.7m の中、25 秒 43 でフィニッシュ。近畿ユース大会覇者の実力をいかんなく発揮した。幸長を懸命に追った岩崎(同 3)が 26 秒 28 で 2 位、井上(網干 3)が 26 秒 89 で 3 位に入賞した。男子は 21 秒台の PB をもつ上原 瑞生(姫路商 3)と村瀬(姫路西 3)の一騎打ち。ほぼ同時にゴールしたように見えたが、上原が 22 秒 47 で接戦を制した。村瀬は 22 秒 50 で惜しくも 2 位。女子 800m は長谷川真理(姫路女学院 2)を先頭に 400m を 1 分 5 秒で通過。ラスト 200m でさらにギアを切り替えた長谷川が 2 分 18 秒 49 でフィニッシュ。昨年優勝した姉の長谷川詩真選手の記録を 0.3 秒上回った。2 位の秋田(龍野 2)は 2 分 21 秒 24、3 位の吉田(琴丘 2)は 2 分 25 秒 86。男子 800m は記録上位の選手が予選、準決勝で姿を消す波乱の展開に。決勝では内海(相生 3)が積極的に集団をけん引。残り 200m からのラスト勝負を藏屋 歩都(姫路商 2)が制し、2 分 1 秒 45 で栄冠に輝いた。上田(同 3)が 2 分 1 秒 80 で 2 位、足立(姫路エ 3)が 2 分 1 秒 99 で 3 位に入賞した。

女子 3000m では、昨日の 1500m 同様、非常にゆっくりとしたレース展開で大きな集団のまま 1000m-3 分 33 秒、2000m-7 分 9 秒で通過。龍野北の芳川(3)、龍野の平尾(3)と綱井(3)、姫路女学院の佐伯(2)と藤田(1)がけん制し合う中、仲田 そら(姫路 2)とのラスト勝負を制し 10 分 32 秒 32 で勝利。2 位の平尾は 10 分 32 秒 91、3 位の芳川は 10 分 33 秒 43。男子 5000m では、富永 暁生(東洋大姫路 2)、高田(香寺 3)、山本(龍野 3)、中島(姫路 2)がレースの主導権を握る。高田がイーブンペースで 3000m を 9 分 32 秒で通過すると、富永が一気に先頭に立ちペースアップ。この間の 1000m を 3 分で走り、残り 1000m も軽快な走りで独走を続け 15 分 27 秒 96 でフィニッシュ。2 位の高田は 15 分 34 秒 98。

女子 4×400m リレーはメンバー全員が 100m~800m で上位入賞を果たした姫路女学院[長谷川-岩崎-丸尾-幸長]が実力の違いを見せる。長谷川からバトンを受け取った岩崎が後続との差を大きく広げ 3 走の丸尾へ。姫路商業と姫路西の熾烈な 2 位争いをよそに、先頭の丸尾はダイナミックな走りで快走を続ける。そして独走となったアンカーの幸長も、攻めの姿勢を崩さず堂々 1 着でフィニッシュ。惜しくも大会記録[3 分 53 秒 34]更新とはならなかったが、3 分 53 秒 79 の好タイムで圧勝。幸長は 100m、200m、400m で個人種目 3 冠を達成。女子優秀選手に選出され、姫路女学院の女子総合優勝に大きく貢献した。また 4×100m、4×400m を合わせて 5 冠を達成したのは西播地区史上 3 人目の快挙であった。2 位の姫路西は 4 分 12 秒 85、3 位の姫路商業は 4 分 15 秒 57。男子 4×400m リレーはリレーカーニバル 3 位入賞のメンバーを 2 名擁した姫路商業[野間-栗岡-河野-黒田]が序盤から積極的にレースを展開。独走状態でも攻めに徹した姫路商業が貫録を見せつけ 3 分 22 秒 48 で圧勝。琴丘が姫路南海稜との接戦を制し 3 分 26 秒 85 で大健闘の 2 位。姫路南海稜は 3 分 26 秒 90 であった。

《2 日目》-フィールド-

男子走高跳において 1m75 をクリアしたのは**西村 颯真(姫路工 3)**、松下(龍野北 2)、矢野(姫路南海稜 3)の 3 名。2 回目で成功させた西村に試技数差で軍配があがった。女子走高跳は**小寺澤杏俐(姫路女学院 2)**が大きな弧を描いてただ一人 1m50 をクリアし勝利。井上(姫路東 2)と池内(姫路 3)が 1m45 で同率 2 位。男子三段跳は、昨年度 2 位の**鹿島 聖規(姫路商 3)**が 13m 越えの安定した跳躍を見せる。鹿島は最終 6 回目に勝負強さを見せ 13m88(+2.6)まで記録を伸ばし優勝。3 回目に 13m11(+2.8)をマークした益田(姫路飾西 3)が 2 位に滑り込んだ。女子三段跳では魚住(赤穂 3)が 1 回目に 10m83 を跳び首位発進するも、**長安 愛海(姫路飾西 2)**が 3 回目に 11m23 を跳び逆転。走幅跳と合わせて跳躍種目 2 冠を達成した。5 回目に 10m86 を跳んだ西本(播磨夢福 3)が魚住を逆転し 2 位に。女子砲丸投では**山田 幸奈(賢明 3)**が、最終 6 投目に 9m46 を投げ勝利。3 投目に 9m13 を投げた高橋(姫路飾西 2)が 2 位、3 投目に 8m79 を投げた長澤(姫路女学院 1)が 3 位に入賞した。男子砲丸投では近畿ユース大会の覇者・**檜崎 蓮(姫路飾西 2)**が 1 投目に 13m44 を投げ、力の差を見せる。その後も安定した投てきで 5 投目にはさらに 13m48 まで記録を伸ばし圧勝。ハンマー投、砲丸投の 2 種目を制覇した檜崎が**男子優秀選手**に選出された。2 位の中野(姫路工 3)は 12m03、3 位の井上(龍野北 3)は 11m65。女子やり投は**坂田 楓羽(姫路女学院 3)**が 4 投目に 37m14 を投げ圧勝。昨年に続き 2 連覇を達成した。稗田(姫路西 2)が 33m35 で 2 位、嶋(香寺 3)が 29m94 で 3 位。男子やり投は 1 投目に 51m30 を投げた**岡本 智輝(姫路工 3)**が貫録勝ち。昨年に続き 2 連覇を達成した。3 投目に大幅な自己ベスト更新となる 47m83 を投げた岩本(相生 3)が 2 位に。45m 台 3 名、44m 台 3 名の鎬を削る接戦は 3 投目に 45m92 を投げた藤原(飾磨工 2)に軍配が上がった。県大会でのハイレベルな戦いに期待したい。

七種競技は、**稗田かずみ(姫路西 2)**がバランスよく順調に得点を重ね 3281 点で勝利。800m で逆転を目指した松田(姫路 3)が 3086 点で 2 位に。八種競技は、**宮川 航(姫路西 3)**が最終種目 1500m でも集中力を切らさず、岡本(姫路工 3)を逆転し 4305 点で優勝を飾った。2 位の岡本は 4286 点であった。